

小学生の部 入選

飛騨市立河合小学校 六年 板屋堪大

ぼく達のふるさと河合には、笑顔がたくさんあふれ、広がっています。ぼくは、このふるさと河合が世界で一番笑顔があふれている町だと思います。

まず、河合の笑顔があふれる理由は、「あいさつ」や、「声をかけ合う」姿にあると思います。ぼくが通っている河合小学校のキーワードに「あいさつ」があります。このキーワードは、ぼくが小学校に入学する前からあったそうです。ぼく達の先輩が笑顔をあいさつで広げてくれていて、今のように笑顔が沢山あふれているのだと思います。最近では、「あいあいさつ」を合言葉に相手（あいて）の目（あい）を見て挨拶をしています。

登校中、ぼくが地域の方に挨拶すると地域の方々は、あいさつを笑顔で返してくれます。さらに、「暑いけどがんばってな〜」や、「今日も一日がんばってな〜」と、励ましを加えてくれます。ぼくは、この声かけで、一気にやる気が出てきます。

そして、笑顔があふれるもう一つの理由は「思いやり」だと思います。父ちゃんと山菜を採りに山へ行った時のことです。ぼくは、家族で食べられるだけの量を採りました。しかし、父ちゃんは、あきらかにその二、三倍は採っていました。ぼくは、父ちゃんに、「何でそんなにたくさん採るの？」と聞きました。そうしたら父ちゃんは、「足や腰が弱い家の、じいちゃんとか、山に行きたくても行けん人がたくさんおるやろ、その人達の分も 採ってやるんやさ。」と言っていました。山菜を、採り終った後、じいちゃんの家に行つて山菜を渡しました。じいちゃんは、「おお〜ありがとな〜」笑顔で言ってくれました。

そんな人たちが集まって今年も「ふるさと運動会」が盛大に開かれました。小さい子からお年寄りまでが参加して河合を盛り上げて楽しめます。だから、この飛騨河合は、「笑顔がたくさんあふれている町」なのです。